はない、 間、高宗武、 個希聖兩人が 香港で所謂和平條件なる ものを發表して以後少し でも物のわかる人は皆こ れを負實なものではない。 と起ってゐる。 とれない。 と表現の作の發表を希望

周佛海氏の心境を聽く

で遊ぶ音を開きるとなるとないであるので を関連がで生自身の見解ないため、 を関連で生自身の見解ないため、 を優別であるとないため、 を優別で当まで、といって、 を優別であるとないため、 を優別であるとないため、 を優別であるとないため、 を優別であるとないたとで、 をので、 をので、 をので、 を優別であるとない。 をので、 をので、

意機店

ーを圖

3

國軍の

躍進へ

(彩を放つ野口、

定期異動、

布陣!



全

中央政治會議

秘書事務を開始

十六日より舊考試院にて

正式事務を開始した

することに決定しこれが人 生を期して特派大使を派遣

相等の間で人選をす。地用すべく過般來来

マイト 有田外 不来内首相

ですことに決定した、よつ 首相阿部信行大將の出馬を 首相阿部信行大將の出馬を ですべき最適任者として、前

大將は考慮を約して辭去、同正式交渉を行つた結果、同正式交渉を行つた結果、同正式交渉を行った結果、同

をみた【寫真は阿部大將】

四億の家康の新しい生活

帝國政府は汪精衛氏を中心|選に付ては首相級

是學校教育部長 學校教育部長 學校教育部長 學校教育部長 學校教育部長 補○○蘇長.

着充第四軍管區司令部附 陸軍軍官學校教育部學生 村木 謙二 補步兵第〇隊長 陸軍軍官學校研究部第員 陸軍步兵上校 野間雙太郎 野馬雙太郎 野馬大大校

補第六軍管區軍械處長 陸軍砲兵上校 陸軍砲兵上校 曹 凌 霄 支那事變戰況左の如し 薬の補充又窮迫を監難は殊に逼迫し人見るに最近敵軍前額の

着充歩兵第○○司令部所 第四軍管區參謀處長 陸軍軍官學校教導職長 陸軍軍官學校教導職長 陸軍軍官學校教導職長 陸軍軍官學校教導職長 陸軍軍官學校教導職長 時軍衛兵上校 時軍軍官學校研究部部員 陸軍軍官學校研究部部員 陸軍衛兵上校 時 南 和平救國の氣運

支那派遣軍 東京では まるるが、 まるるでは まるでは まるで まるでは まるでは まるでは まるでは まるで まるでは まるでは まるでは まるでは まるでは まるで まるでは まるでは まるでは まるでは まるでは まるで まるで まるで まるで まるで まるで ま

北文方面 ・北文方面 ・北京でを進めてゐる ・は今や最後的段階に入らる がとしてよある、即ち閣 ・のとしてよる。 ・のとしてなる。 ・のとなる。 ・の

市、中山縣が大田の大田の 国澤の諸部隊は六、七の 国澤の諸部隊は六、七の 関盟と協力進撃 に中山縣城を攻略した、 を敢行した丹羽、遠藤、 を敢行した丹羽、遠藤、 を政行した丹羽、遠藤、 と協力進撃 に中山縣城を攻略した、 に中山縣域を攻略した、、 に中山縣域を攻略した、、 に中山縣域を攻略した、、 に中山縣域を攻略した、、 に中山縣域を攻略した、、 に中山縣域を攻略した、、 に中山縣域を攻略した、、 に中山縣域を攻略した、、 に中山縣域を攻略した、、 満州興業證券 変らう 変らう

田中兩少將

進級發令 離第二軍管區司令部附 陸軍軍官學校教育部學生 験附 相步兵第〇殿附 (特軍陸軍上將張景惠附屬) 陸軍步兵中校 陸軍步兵中校 陸軍步兵中校 村第八教導條司令部附 治安部軍政司令部附 治安部軍政司令部附 治安部軍政司令部附 治安部軍政司令部附

重淵

在陸軍少將(一月廿日附) 陸軍工兵上校 赤澤三六 陸軍工上兵上校 赤澤三六 一月廿日附) 「一月廿日附)

級 福居希山 軍事步兵上校 軍事步兵上校 軍事步兵上校 建步兵上校 建少兵上校 建 軍勝兵中校軍場兵上校

組工 遠 鴻 軍騎兵少校軍步兵中校 軍勝兵少校軍憲兵少校

王汪胡子 包尚 李周柳 鄧劉 馮 正其 恩連青 國銀 崑悅 晋陸田 慶淸 女恒 德 濤林鹽泉

校校校 校中少校 茂木貞男 田張李夏 游徐 張李遲 恩榮世權 正 鳳鶴少 景 元身鄭宜 如昌 來齡章 唐 劍

畵

3

演

日

明日限り

宵

3

無きを得ないへなのだ、胸躍るものまた

家全體的、第極的な利益 家全體的、第一個に重大 である」と述べたことが である」と述べたことが である」と述べたことが である」とが である」とが

木鼈九 廿日ま 4 代千實暮木•子通野桑

0

日

重要である

内質の建設こそが



な塚大『吉ね人唐』 音浩田高

日六十 計算 定章 全3 問題 發行所 印版的 钢板符 人人人 水越內之介 新京日日新聞社 新京日日新聞社 東京日日新聞社 東京日日新聞社

進

整軍工兵上校 全軍工兵上校 全軍工兵上校 整軍工兵上校 整軍工兵上校 整軍工兵上校 整軍工兵上校 整軍工兵上校 整軍工兵上校 | 歩兵第〇隊附| | 歩兵第〇隊附| | 乗歩兵中校 言服 日勢力

相携へて國軍に轉籍し空軍光賞と國軍帷幄の重責を擦つて一段の生彩を添へた外は個々において特筆すて注目されよう、たは異動中ノモンハン事件の荒鷲部隊長野口雄二郎少將と大陸聖戦の猛ै田中久少將

全面的には範圍こそ例年と大差ないが、國兵法と關聯し

軍全體に發刺たる新鮮味を注入したものといふべく、今後の建軍增張に一大示唆を齎すものと配置せられてゐる、而して特に異動の中心が中級以下に置かれたことは國防軍への面目を一新綱に即した機構の整備、敎育の刷新による敎育機關の充實强化の二大要綱を重點に適材適所主にして陣容の割期的整備增張が斷行されんとしつゝある折柄とてその異動の方針においても建

加へて國軍全體に潑剌たる新鮮味を

の左の通り の左の通り

跡が窺はれ躍進國軍

補第〇憲兵隊長 憲兵〇隊參謀處 事 訓練處主事 第○憲兵隊長陸軍 第○憲兵隊長陸軍 陸軍工兵中校 長兼憲点 濟春

株 第五軍管區司令部附 陸軍憲兵中校 陸軍憲兵中校 週,希 憲兵〇隊參謀 時電 電影兵中 雲

往來

一等資總局理事官、結 專賣總局事務官 **然馬任**

七十 長

つて、それ故自分は和平ひさへすればよいのでありの障碍と因外とを突破切のでありな私見を懸倒して一足服し、又その関策が個とを突破が低いない。

國都公園

高を是非職人して繁殖されて砂電では更馬と稱されて砂電に動物園等に同けてれてるるがその敷は極めてれてあるがその敷は極めてあるる。 では更馬と稱されて砂電がでありこの間が関等に同けてある。 では更馬と稱されて砂電

し随はめ重内

院、交通部、協和會を訪問、廿三日に闢東軍、國政制計に參拜、滿鐵安社を訪問、廿三日に闢東軍、國政

き次の通り語る 日の要務理研酒の製造につ

ル、の、中1でをにでのか1り 1 南麓こにルは行無はでられま

る出と日

完全から

ブの不

青松アパート火事

夫婦恙
イリ

市より新京特別市公署に艫

から市買工

で撫順に向つたで振順に向つたの千六日午前八時磯列車でから千六日午前八時磯列車でから、

張司法相撫順へ

【寫眞は大同大街にて】

れるけふ十六日、國都でも「晋曲を差整へて、道行く人下の御壺儀の執り行はせら」」、料理店等は何れも歌舞故竹田宮大妃昌子内親王殿「各戸に弔旗を掲げ、カフェ

へ 全市は敬弔の一色に包まれ の日を送った

ふ竹田宮大妃殿下御喪儀

縣生れ笠井五郎○一○ンが素 で捜査してゐた窃盗犯大分 で捜査してゐた窃盗犯大分

笠井五郎逮捕

習犯

も悲

は早や

櫻

の九

位頭へ誓も健氣 で晴の遺見ら五人

割程

女, 陸

以やうお園のためにお会 はく暮してゐることをお しようと思つてゐることをお しようと思つてゐます。 を表少尉寬心氏長女、旅順 長少尉寬心氏長女、旅順

おお去

の値上げ決定

日伊間航空路

機和の遺兒五人、上から川 渡邊昭三才、大西利子さん 、 出口和子さん

大西利子さん

盤谷まで開設準備

事記と

(東京國通) 不世出の英雄努力に援助

留日學徒の

史」原本が既に失せた今は

日本人大工募集

が出て来た様に思ひますが出て来た様に思ひます。私の考へでは

ちの覺悟のほどはどうだらととなつでゐるが、感激のととなつでゐるが、感激の △渡邊昭三君(陸軍軍職忠一氏選見、大連備軍職忠一氏選見、大連備

微笑もうといふ廿六、 地域の遺見たちが夢寐 地域の遺見たちが夢寐 でいた、早咲きの優

長に伴はれて來る廿一日大援護會關東州支部青木支部大変の第二回代表たちは軍人大変の第二回代表にちば多人

をみたがこれが卸値小賣債 類は左の如きものである 本菓子パン(焼き上り最低 電量)七七五キログラム) 小賣 二七銭四厘 小賣 六十六銭 小賣 六十六銭 小賣 六十六銭

使節派遣伊歡迎

將は十五日下院フアシストタリー航空次官プリコロ大

開設すべや準備中である タ郷由パンコックまでを フタをしてカルカッ 開設の意向をもつ 陸へお嫁入り=嘗つて正勇 とぢ籠る文樂人彩が人形慰 とぢ籠る文樂人彩が人形慰 長大佐へ

催か

大體二年餘引續き日本滯在 関大使館では全譯完成まで 負に精根を傾けてゐ 部を卒業、留學年限が旬

へばいか開館いか如り

愛好者であるが、豫ね年來文樂人形淨瑠璃の 佐を行ひ研究を扶けるこ

つの再

めて來ることになるやもというない。 の・のが再びオリントの・のが再びオリントルシンキ組織を重張して各

大戦争のため消滅の運命に東京國通》今夏七月を會一門オリンピック大會はソ

中銀帳尻

す (H4H)



不科學院長歸京談

公 人一司

劇

弊店儀

本七、四〇(東京)静道「歐湖」日本放送安響樂團人 《東京》奉悼音樂一群送行 《東京》奉悼音樂一群送行 《東京》本域音樂一群 《東京》即讀一点 《東京》即讀一前線 線▲行O學歐 喜 笑 3

(二日間)午後五時半開演

節 6 統



人學案内入用の者は二錢切手を貼付し本校に請求せら 一、募集 人員 支那語科、露語科 計 一〇〇名本校夜間部第一學年生徒を左に依り募集す 新京商業學校夜間部生徒募集 募集人員 授 業 毎日自午後五時至午後九時 瀬書提出期限 昭和十五年三月三十日 志願者資格 每日自午後五時至午後九時半 尋常六年卒業者及同程度の者(但滿十七歲未滿者) 七日兩日午前九時半より

ばれるであらう を受い、風情を添べ定めし喜

京あたりの大家の御寮人風 猫子の襟をかけて如何にも 橋子の襟をかけて如何にも

面會時間午後六時より八寺乞 古希望者は履經書叉は經歷書持念されたし給料待遇 は面談の上決定す 解 雇 廣 告

池崎

入船町二丁目五番地

電話(※)ニ四七人番

條件一、日本内地人にしてなる可く高女卒業の一、採用人員 若干名 市造に来社ありたし時近に来社ありたし時近に来社ありたし時近に来社ありたし時近に来社の領身の方を望む。 明本記書は自筆履歴書持多來る三月二十一日午後一時近に来社ありたし 女子事務員募集

7

ピスト募集

給年學 與齡歷 男子社員募集 受遇す (本権以外に住宅料集の他手書を校卒業程度)

洲勞工協會人事科

一、日本人 を問はず(但し滅人は日籠を解するので、一、日本人 を問はず(但し滅人は日籠を解する者) 着十名 あるり

英語 新學 加講 書 募集

獨逸語 初級 A級 箱谷 「獨逸語讀本」
、獨逸語 初級 A級 箱谷 「獨逸語讀本」
、獨逸語 初級 B級 小村「獨逸語讀本」
、獨逸語 初級 B級 小村「獨逸語讀本」
、英語初級 B級 神田英語讀本第三卷ョリ 其他英獨共申級及上級,便アリ 其他英獨共申級及上級,便アリ 其他英獨共申級及上級,

英獨語學講習會

H 是族

(3)

文化映畫部 曜進日覺し 瀬映本年度スケジュー

湖田壽之(蔣映宣傳課弘

▼締切 三月二十日 ▼投稿者は紙上匿名差支へ なきも原稿には住所氏名 明記の事 尚榮あるコンクール賞につ 主事〕

(日 曜 日)

我、が社が毎月の行事として映畫批評コンタールを 設定したことは果然各文化 設定したことは果然各文化 設定したことは果然各文化 で行望する際は益す張くな を行望する際は益す張くな を行望する際は益す張くな

憲招待券)プ

主本催祉 映畫批評コンク

信真は

人登龍門に

人選記念杯も決る

通化方面に駐屯する野派部 種工、撫松、隆江、八道江 東京、 無衛、 東皮膚

女子事務員 は自筆履騰書持参至急木人來

中古部分品販賣中古自動車解體品 使用不可能自動車

北京行 派遣多忙看護婦、附添婦、家政婦募集宿舍完備規則書有 豊 樂 路 薬 局 自動車便利社

九日。廿日(三間日) 浪曲大 座 長 合 衛 座 同



と高見の見い

アスは十時開館お早く瀬員にならの内にお越し下さ連日滿員のため 活竹石喬一 星松本いてふ 錦 知里 雄 コデオン名 新京キ 月形龍之助・比良多惠子 杉莊見。 舞夕想子 武士 道 開映迄 ¥1.00

宇治茶と世帯道具の店河 0 御用命は 都 電話(3)三三〇〇番へ



B C

從軍漫談 踊藝

明笛美也子

井

波

た一座の精鋭ばかりを引

共しての來稿

柳原凡

見しル

井口靜波と云へば、あ、浪花節の上手ないで笑殺させてしまひます 加へて洒落の名がで笑殺させてしまひます かって洒落の名をは明年北支中支方面へ皇軍殿間をしました一座の特別では明年北支中支方面へ皇軍殿間をしました一座の特別です。何を御期待下さいますやう

プログラ

勇に、深く吐いて、

んなことを聞か

『沖田、お前それを誰から 『土方さんが見えられて、 『土方さんが見えられて、 甲州を押へて、甲府の城に 財力でものが見えられて、

一〇仙六四 一〇仙六四

郷 愁 (三) 勇と、沖田との話は、い 勇をでも續いた。

たやうに、いままた彼等は天下へのこのこと移つて本祖が豐臣の天下から徳川の

E

彼等の

彦

海外經濟電報

勇

商

况

大きな云ふ、新黴の武士を大きない。 新黴の武士を のだ、よいか沖田、このと云つても敢て過言でなと云つても敢て過言でな

顔だけで笑ひながら、

つてしまった。 かたれたやう

浪花節レビュ·

校

員全

しい實演!

B

は

先生、そんなことが 自分の言葉を追つ 語つて最後に淋しく笑つた も心も空蟬のやうになつて あると云ひたいのだ。たち 土方の策謀によんどころな く動かされてゐると云つた 勇は、沖田が云ふのを待 すし、あそこを死守して!! 沖田は、

前も知る通り、

死地に赴くの

潯

不.

演出

西西

原

門時公演が

ネ

陸

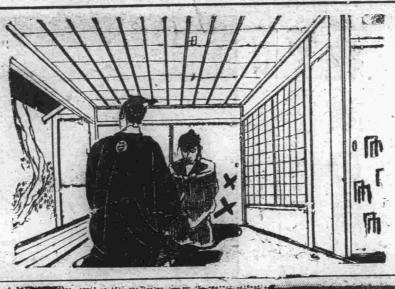
家第

回

提 供

漫 7

談旬



に、 は、 結局、 朝敵の汚名を蒙されたとて、 唱へらが、 は、 結局、 朝敵の汚名を蒙さ、 結局、 朝敵の汚名を蒙さ、 結局、 朝敵の汚名を蒙さ、 お局、 明敬の汚名を蒙さ、 大下が動いて行かうとしてゐるのだ。 感激の涙をもつて迎へようではないか!! 今こ女性!! 彼女達の歩み來つた絢爛綾の如き足跡新らしき時代の翼を持つ女性に見て頂き度い日

そ我々はこ

Ħ

作大員動總軍女都京興新 島本斐村浦友山川 世 和

泰津蓉妙歌廣網靜澄 貢輔子子子子子枝子子 演共

井黒杉 U 11 井上 清・歌川八巻巻 山美子・古川の日に落ちる涙の母と子の日に落ちる涙の母と子の を

物語 11 11

美

きまつたのだ。然し――甲きまつたのだ。然しは三月一日と

なります?」
をかります?」

代の慶喜公が、恭順をいく

て、司権者を取り替へよる 強川 以外の 波ーーと でよ

五月限 至五 三月限 至五 三月限 至 五 元 下 版 紀 布 #

市况

和日本 大龙 11 1111

産

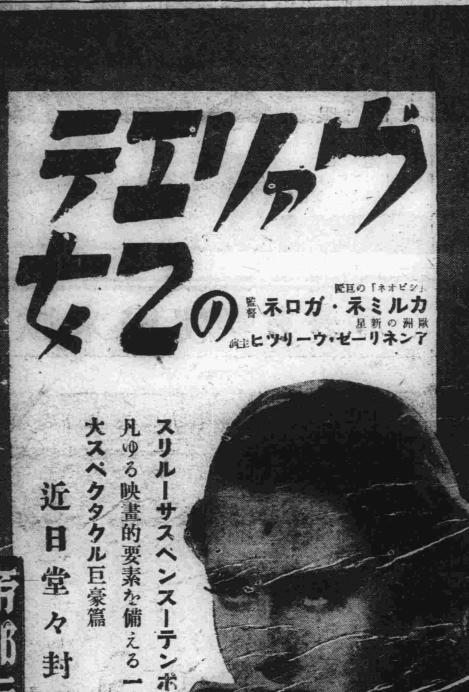
K 科 昂定佛已日 宿 滅未曜

手形交換高(+於日)

八七六五月月月月日

1202

巧をはなか、と







興亜院等關係各方面と阿部 る方針で來週早々隨員全部 常手し目下陸、海、外三省 席隨員は外務島より起用す にこれに伴ふ隨員の釜衡に 任者を選定しついあるが首 解真國通 政府は阿部大 大將とが打合せの上外交、

烤到用範圍減殺

英の新爲替管理令運用に

満洲國は重大注視

で今後の情勢に大 関盟を通じて慣重 で今後の情勢に大

ド、スエー 競関

南支戰線

疾騙し秘書處門前に立

東亜永遠の和平を双肩に

門部特派大使の使命重大

【東京國通】阿部信行大將

階に當り今回臨時特命全權と前支那建設の歷史的段

あつてもその有する歴史的 一岸の要衝〇〇附近に制止は同じ特派全權大使で 横縣南縣城の中心にで横縣南縣城の中心にで

余は今回追加融資した二

安員長は十五日次の如く

知れぬ 一番帯のほかに更にでイ 西方氏より五派聯盟結成 一番帯のほかに更にでイ 西方氏より五派聯盟結成 で 選邦、赤松麻氏より

人と息

上院に米リ斷交決議案提出

日亞通商の

隨員適任者銓衡

日前後に渡支

飛員聯盟結成

五派聯盟は解消

出席者全部を聯盟の發起人 申合せをなした後、同會の 申合せをなした後、同會の

託人間に種々工作が進めら

具體化を圖るためその後世

合を閉き三十四氏が出席、時より赤坂幸樂において會

軍事同盟進展

加速度的に成立

等下の間をシボレー四路の還都籌備委員會と

還 日日日 新聞社

肩に懸つてゐると言つてよ 重く、東亜永遠の和平確立 重く、東亜永遠の和平確立

本 第一列車で晴 闘は喜びを前の慌しい空氣 り、ここの階下大勝門上、 南京停車場は緊長室隣りに 中山北路の首都飯店は各室 景、各新聞通信社の東京 連絡所ともなるわけだ、警 かりに塗り替へられ定 せて数十本の電話機が行来も要人達の休憩所兼 かりに塗り替へられ全部の 會議、新政府樹立など 「澧都郷備委員會臨時招待 の調度も 下も嫌やくば である、この電話機が下る要人達の休憩所兼 かりに塗り替へられ全部の 會議、新政府樹立など 「澧都郷備委員會臨時招待 の調度も かりに強り替へられ宛 せて数十本の電話機がである。この電話機が下る要情である。この階下大勝門である。

道陣の溜りに充てられたので早くも戦場の前の様な風で早くも戦場の前の様な風話が数小本、公衆電話を合語が数小本の電話機が列んせて数十本の電話機で中政である、この電話機で中政である、この電話機で中政である、この電話機で中政

中では、新くて世紀の前奏的で、新くて世紀の前奏的では、新くて世紀の前奏的でなる。 は登す最高潮への柳爛豪華のな旋律を展開してゐる。

の敵と激戦を交へこれを追 指す○○へ廿五キロの線に 指す○○へ廿五キロの線に り、わが飛行機の偵察によ り、わが飛行機の偵察によ

してるる

「東京國通」十六日の貴族

「東京國通」
「東京國」
「東京國通」
「東京國
「東京國通」
「東京國通」
「東京國通」
「東京國通」
「東京國通」
「東京國通」
「東京國

心園圏を壓縮

五日谷、クレーギー會談の

日英兩國間に協定成立した

交渉は進行中

大津現銀問題經過

旨情報部長談を發表した、 ウエ 伊外相會見 ルズ特使

るから協定成立は目睫の 間にあるとは考へられな

京城看 亞國使節團

を政権する青十六日附交通の から濱江省肇東縣昌王衛のから濱江省肇東縣昌王衛の 通商交渉は今回諒解成立と変國通」かねて折衝中のロ 京解成立す 事)十六日來京ヤマトホ青山正氏(大阪府商工主 人事往來) 同 (權國地東商 (權國地東商) 同) 同 武一氏(大阪府經濟 介氏 (大倉事業取 氏(交通部嘱託) 金粉 四、愛の設計 プログラム 毎夕五時

劇海淡家廼賀志

元の節海淡



肛門病科 留神居自田醫院

和度 定本 会出 訂載

歸國命令

維政府慎重に

對策を練る

新情勢

の大部分の召集を一被の第一階梯を意味す マニアは動員され ことは獨立國ルーマニ障の報酬として ス系鐵南國員の入閣を

一般論功行賞

四、本法律は公布の目より 四、本法律は公布の目より ととすることを得さると に供することを得さると で、前項により強行する公 で、前項により強行する公 で、前項により強行する公 で、前項により強行する公 で、前項により強行する公 にはかるかにおいて買入 薬場散院において〇〇部隊 に供することを得さることを得さることを得さることを得さるととの勇士に東心哀悼の意を表 ととすることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得ることを得ることを得ることを得ること。 一、前項により強行する公 を選がた英霊〇〇柱の慰 激光に表することを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることを得さることの勇士に東心哀悼の意を表

局では第一、第二勳章係並 に東京出張所の臨時勳章製 に東京出張所の臨時勳章製 名を總動員し山田局長、柴 和製造部長が先頭に起む感

を勇士の胸に飾るため今間 東に第一動賞課の熟練工 二十六名を動員作業のスポードアップを関ることに

ピ百回章

七萬五千幽の道加豫第を職 會に提出四月末までには陳 容を整へ大々的動賞護製に 蓄ることになつた

一二月 - 日發令 一二月 - 日發令 は左の如し

混成第〇隊長陸軍少將 計 治 功

陸軍少將

着光江上軍補光縣輪機正 江上軍司令部附 陸軍步兵中校 郭 索 索

新光第二軍管區司令部附 第二軍管區員事應處員 陸軍步兵中按 基 榮 要

斎

着光第○除司令部附 沙兵第○除闭 沙耳等○除附 ※ 嘉 ※ 嘉 ※ 嘉

新安兵第○蘇附

安兵第○○ 除長 安兵第○ 除長

第二軍管區副官處長 第二軍管區副官處長

女啓

國軍定期異動點

定期異動に見る横顔

排少兵第〇<u>區</u>長 步兵第〇<u>區</u>長

第一教導教育部教官等一教導教育部教官 錫

蒙

陸軍步兵中校

瑙

第五軍管福司令部附 建五軍管福司令部附

一 一 歩 兵第○ 職長 の 最長

補第七軍管運司合部附 職兵第○職長 下上校 務兵第○隊長務兵第○隊長

除 除 兵 第 兵 第 兵 第 の 除 限 附 長

第七軍管區司令部附 第七軍管區司令部附 曹校殿 補騎兵第○除附 補騎兵第○除附 利利

廣生

新京特別市天同大街二洲

電

業

元 補步兵第○除附 陸軍務兵中校

着光第○○司令部附 第七**麥準滕教育**部 除連長

横濱正

金

銀行

支新

に店京

立本店 金金 **實信參千七百拾五萬圖** 新京日本福通三十四、

西地向衛州各地向も有利品連に御取扱致します

便利に御相談中上ます の御取次き、内地への組轄へも迅速に御収扱銃します

新京驛前日 ノ出町ニノ四

道 社

鑛山調查

其他鑛山に關し

一切の相談に應じます

人後援事業を擴充 全満各省に支部開設

護地域の一般人民の撤退 コアラの五千を含む合計 コアラの五千を含む合計 コアラの五千を含む合計

表近とみに被退してあると 表近とみに被退してあると

の要略を訪ひ引とめ運動を に備へて補領水潤子に貯木 工會はこれが測式發展に及 ではま整響基大なるため運春

出願手續

圖而調製

四百五十六名

ない

琇

混成第○離長陸軍少將 湖 文 藻

湓

混成第○離長 ・ 作 と ・ 作 と

第二教導隊長兼第〇隊長

補少兵第〇隊長

死二萬統九小千二一彈一彈小獅 者、七九萬鉄入輕迫業拳樂鉄廣 合輕千百六二十機擊一鉄四三二

未利用地の開發

本年度は十六萬陌

就いたが、同船には初めて「神戸関連」大阪商船ある

出してるるが、十二日治安 部で開かれる各軍管展兵事 部で開かれる各軍管展兵事 を長會議にこれによる優議 での徹底を期することとな

要 選に逃避することになった 事 解数は第一回委員會の結果 に比し相當の増額を見、神 計上、いづれも明夏七月末 完成の運びであり慶祝帰養 は二萬圓、武徳殿は二萬圓を 計上、いづれも明夏七月末 完成の運びであり慶祝帰養 は今秋九月日本小學校を中 心に在礼各學校共同し大會

は 放成しは パーゼル

八千三百陌に達したが本年年中の測量調査側所は八萬年計畫の開設計畫を進め昨

國防皇軍慰恤献金品〔驗過〕

十一家族四十五名が乗船

型電氣スタ

ド品揃

階

二千六

社の造響 一年主は関東の記 四、記念造林事業及び慶祝 一年主は関東の記 四、記念造林事業及び慶祝 一年主は関東の記 四、記念造林事業及び慶祝 一年主は関東の記 四、記念造林事業及び慶祝

扎蘭屯の四大事業

一念六萬四千六百十六**八十四级** 一念六萬四千六百十十三四八十四级 一念五千八百六十三四三十八线(胜满陞海軍部へ) 一念五千八百六十三四三十八线(胜满陞海軍部へ) 一念五千八百六十三四三十八线(胜满陞海軍部へ)

▼ ある 決職が展開されんとしつよ は ある 十三日欽縣東北方約十五寺 於て抵抗せんとしてゐるが 終軍を加へた數萬亦各所に 柔港萬博に

是日七

の嵐

後一帶を中心に中央、共産 にあり、いまや裏河沿岸軍 への漁敵を策してある情勢

四季の風物畫

な趣向を計畫中であつたがな趣向を計畫中であつたが、國際観光局でなったので、國際観光局でなったので、國際観光局で 萬國博覽會は今年

面子保持の 蔣軍を撃破す

廣告の

御申込は 電 . 3三三〇〇番

林式會社業

高會被務株式第三回株金拂込左の通決定昭和十五年二月二十二日附を以て夫 新株式第三回株金拂込公告

会を以て選約金可申受候会を以て選約金の一百四十五年四月一日(三月十九日より収録) 原徳・七年四月一日(三月十九日より収録) 「「一株」に付金十二圓五十錢也

第〇條族司令部

景

游元歩兵第○條附 沙兵第○條附 被軍步兵中被 張

化粧は思ひの

圓ブ

D

ツ

に関北文や青島や上海がほとんど東京で行金が表の代金を別なる物資のを動はに、 はれてをり、また事變後 をの代金をの代金 をの代金 をの代金 を動は、、

物資が移動してるること を関係を表示の物資が影響してるる。 を関係を表示の物資が影響してるる。 を受りがないのです。 を受りはない。 を必要りはない。 を必要している。 をとので、 を必要している。 を必要している。 を必要している。 を必要している。 を必要している。 を必要している。 をので、 を

一子供はあるし 前途は暗し 前途は暗し の人妻で御座いま も、現在の主人と結婚いた しました(主人は時々遊び しました(主人は時々遊び しました(主人は時々遊び しました(主人は時々遊び

主人を心からずきではありません、主人も私と同様だと思ひます、主人も私と同様だと思ひます、主人は私に對して思ひやりがありませんるのです。申し選れましたが唯今は子供が一人居ります(二歳)私は小さい時から父母のもとで何一つ不自っなくむしろ滅手にすごして來ました。 類の家につかは もからないので からないので ないらないので は私

私も子供も出来たし交野。 報意なな~~なら政氣苦寒 とお金をつかつ~来であま とお金をつかつ~来であま

大事柄が起き勝ちなもので には考べだに及ばざる事即 に進るがに遠く掛離れ 主婦さして反 城身的な努力で幸福を招け 大に及ぼざる寒即のです、人の世の神秘性と たに及ぼざる寒即のです、人の世の神秘性と を記さる等のです。人の世の神秘性と

悲歎の妻 大は冷た 0 答 相 H 出

んでした、私は分家をしたらどうで 私が分家をしたらどうで なさいと申しますた顔色を でも行いのです、結婚當 した、私はお金にと とならだまつて居りましたと神しを からだまつて居りましたと神しを からだまつて居りました。 母は私に勢して四十個名 からだまつて居りました。 はばらくは何もいりませんでした。 はだらくは何もいりませんでした。

す、父母も歳はとつて居りますし何時どんな事がおこるかわからないと思ふとこれから先の自分がみじめになって来ます。 す、父母も歳はとつて居り でもその當時氣に入つてあ たものですから、あちらに たものですから、あちらに で父が出す事になつたので で父が出す事になったので でまにゐと

しし生持くせはかものと思やのと をするない。 として、 が私に、 を対していませてのいまださい。 ないませていません。 ないませていません。 ないません。 ないましたん。 ないません。 ないました せきとびもは人でなには主 道道でいるというはは大でなにある人 道道でいるとひ私が何主な人 びお先領なまにわ時人い今

得るのです、其の様な問題 が不幸にして或人の生活の 中の一現象として現はれた 時感情問題が伴つて來で既 機となるのです

す、大なり小なり負いす、負力は悪くまれた樂い温 費方は悪くまれた樂い温 を持つた人であり御主人 を持つた人であり御主人

本を対した。というないのは、

ー 設論でありまして必ずし も全ての天輔生活の繊則で

がの下へと軽くなり側へ、類は関く外側へ は顔内



への利用價値し 入り、従来燃 をつつその處

脚光を浴びて颯爽として

かなかつた豆稈はここに一

7

登

上に鮮かに浮び上つて来た 連関家的重要音源の観策線 上に鮮かに浮び上つて来た 連キロトンを達する大豆 関キロトンを達する大豆 が別くの如くバルブ原



で表演けておいた後、焼骨できればなくと、和かって料かった。 にきれいです。 にきれいです。 にきればないのを観だしてもないのを観だ は摘み、よく洗つて料の にきればくと、れがのを観だ をの間に日本紙を一重あ がつかす。

持つてゐるごとです。
特つてゐるごとです。
これも無理はなく今迄の
たうに皮膚學の發達して
るない時分には愛見可愛
さの餘り手を盡したり。

會僅否公志配(E)--(B)--(B)--(B)

たのお肌は見達へるやうに たのお肌は見達へるやうに たのお肌は見達へるやうに たのお肌は見達へるやうに たのお肌は見達へるやうに たのおりがはなり追々に自物 春と吹出 はると昔から芽ばえて吹き出物の多く 田ですが其の中で最 配を験なのは潔疹と に発験なのは潔疹と はな小児の生命 など往々小児の生命 はないはず

は危険で ない。 は、 ないであるに は、 ないであるに ないである。 ないであるに ないであるに ないであるに ないであるに ないである。 ないであるに ないである。 ないでる。 ないで。 ないでる。 ないでる。 ないでる。 ないでる。 ないでる。 ないで。

ツ人が見の

元をもつ御南になく

演員

りになつてはいかゞですか加へて風味と繁姿に富む新加へて風味と繁姿に富む新 温疹" B

大豆の一度炒つたものを 大豆の一度炒つたものを 粉にしますが、蜜柑の皮 粉にしますが、蜜柑の皮 からにしたものを腸 したものを腸 なぎの骨と頭 ながらにしたものを腸 粉にして

鰻の骨

も入る

作りなり

th

い方のん含のも供ますたか極 治療法としては先づ幼兒の 頭に少しでも異變を見受け たら、貝の膏薬を貫ひらけ て毎日一回宛塗布すること に依つて完全に盛ります、 今春先には出來たばりです から夏になつて汗や暑氣の

政员田山

を眺しく思いませう。 の権材によってり子供達 の権材によってり子供達



長数の動語が練本しく感じた 泰の親善給本



上新 數疊 疊表 表床替 **新京曙町三丁目十八番地** 見玉疊商店



お駒め致します 振電書

たので例年の通り三月中

一般に依り登る粉末各三 き効果

6庭活拔 花も實もすべて精力を存のエネルギー。 ハリキ 臺 產猛毒 桐力次第です ・ 撃しい家 ・ ・ 撃しい家 素



下御に中月本は文注御送地内の栗 3



尚今後共一層御引立の程 店主敬白

用の御方様は御早く御注 げます で内地送りか中止する事 になりましたから何卒御 ます様御願申上

誠に有難ふ存じます就き 毎度格別の御愛顧を賜 りの まれて居りました甘栗も ましては皆様より **| かく 春暖の候になりまし** 新京土産さして親し 內地送

漸く春の氣候になりまし 御慶び申上げています た皆様の御健康を心から 弊店儀

御挨拶

百吳

「吉田」 奉天の聴楽は音楽 に解ふばかりで批判する に解ふばかりで批判する を連はその製洗練され社 ですい。

(初藤) 奉天でエグモントをした時ですが、一ロシをした時ですが、一ロシア人がステージを見ず壁ア人がステージを見ず壁の方を向いて、昔の夢をなるかの様に感動してあた。 と思ひます。 たと思ひます。

【小賞】待つてましたと言ふのは本當に待つてるた。本のは本當に待つてるた。 「和泉夫人」さら、悪い意とばしりだつたと思ひます。 「被原」率天の聴衆のほといった。ですれたです、、概迎の意味のほかにない。 とばしりだつたんですれたですね。

しを壁シト

たと思ひます で當に待つてみた こ

映書でポピ

1

ラになる

大人」かつてこんだ人」かつてこんだ

れ人かるの夜かれがな

2"

本社ではこの地方進出第一回の演奏旅行の報告とこ豫期以上の業々しい成果を收めて此の程歸京した。

大連と演奏旅行を企てたが、音樂藝術著及と啓蒙の初の

て憲政會を開催した

得た滿洲音樂界の進むべき方向等

につ

(寫眞は當日の會場)

だんだん興奮してくる様になってゐて「神泉夫人」未完成交響樂本へ持つて行つても自慢は水ると思ひます。

催主社本

者席出

000.

奏旅

よ

歸

氏一德泉和 (官務事署公市)

氏人被田吉 (長樂院樂書京新) 氏郎四譽貫小

(員樂院樂音京新 人夫音初泉和

(員樂院樂音京新) 氏嚴 尾永

(曲作院樂書京新) 氏平一木八

(員樂院樂習京新) 氏紀 瀬初 (員樂院樂音京新)

氏忠 崎山 (員樂院樂音京新)

八志隆 (係配編鐵滿)

氏雅英原萩

(部化文)雄春 (部化女)郎三六田藤

出て行く

伯畫營秀林梅

十名 .5.

の際類り

から

足

一同之には尤もだと

新京音樂院では



れて参り

\$

は

1,

切禁止されわか整術界に明朗な春が を見、十四日限りで日本國内におけ を見、十四日限りで日本國内におけ を見、十四日限りで日本國内におけ

、今後は手の替べやうもなくなが、今後は手の替べやうもなどに十四を氏主催の大日本音樂作家出版日附で和下され遂に十四を氏主催の大日本音樂作家出版主が事務所名による仲介業務の主が事務所名による仲介業務の

介業禁止さる

澤澤里ー

一〇、〇〇(東京)週間 順みて(鉄膏) 「〇、〇〇(大阪)修楽 順を

一、詩吟として」 「就後の小園里として」 高尾信子 (二) 慰問文朗讀 (二) 慰問文朗讀 (二) 慰問文朗讀 女子 ピアノ作奏 浅 毎日五郎) 「神祭」二、空中橋 「神祭」二、空中橋 「神祭」二、空中橋 一十個孝二



せ、三五(新京) 曲島根縣人東郡下 一川妻下 一川妻下 一川妻下 一川妻下 一川妻下

の、三つ、「動物関めぐり」桑原豆 〇八大連)歌遊び(レ

、南國の乙女鳥(藤原、、南國の乙女鳥(藤原子)二、リラの花咲く子)二、ルン(結城道子)二、ルンンベス・ウオーク(北ンベス・ウオーク(北ンベス・ウオーク(北大郎)五、乙女の想出太郎)五、乙女の想出太郎)五、乙女の想出

唱歌アルバム(二)音今と で拡順の昭和関から中継し で拡順の昭和関から中継し 旅順昭和園から

傷病將士慰問の午後一般 良種鬼分讓 高橋種兎場

Se offer



RAD-0

大、二五(本天)趣味講演 「満人とユーモア」金九經 「満人とユーモア」金九經 「満身」告知事項、今晚 の番組 七、三〇・全國青年體驗發 表大會・ 表大會・

九部

九

フ

蘇武 二、孟美女

五(奉天)滿洲雅樂

【吉田】早く世界一流になりたい、而し他にも満洲らしい、帝では出来なができ方、満洲らしいを作る事が一番だらればなりを作る事が一番だと思ひます。 「講談社の給本」



音樂院が元

締で

音樂聯盟結

全滿樂團步調合さう

んです、そこで各都市には全浦的に認められたとは全浦的に認められたと

出来ないものですか が濃厚なのですがお願ひ が濃厚なのですがお願ひ











來る廿日、廿 書午後一時より 夜六時より二十一日の祭日は晝夜二回上演 新京日日新聞愛讀者に限り 西廣場社員俱樂 圓五十錢の處一圓に割引致 京 一月。 B Ξ B

冷水 新 10 16 1760 南加州 色をふんだんに盛 賞讚の花束!! 的記錄を作る絕讚!! 場異 御目に つた素適な 千六百年を祝福 本年は特に皇紀 坊チャンも嬢 御老人も、 て娛しめる。 每年 3 動員の お友達にもド 回必ず花に みんな揃っ さいませ ります プロで

する聴

ときます。 とたが、こんな感激的演 変をしたことはかつてな 変をしたことはかつてな 変をしたことはかつてな の氣持をきいてくれたか らだと思ひます。 「和泉」登場 「和泉」登場 「本記を記され、では一 であるんですよ、では一 であるんですよ、では一

「小樓」本天では成功したが大連ではどんなものから心配しましたなものかとんか。 「小棒」を表表にどうですかまましたなものかってましたなんて繋がしました。 では多次のも本天でも變りまって大變でしたなんで ザワするなんて事は、

長いから聴衆の態度が良し【大内】それ 日本には例がない

「泉」プロはやはり地方へ 行く時は變べなければい けませんか て八木」そんな事はないで ので山の 「藤田」今後ずつと定期的 にやりますか 「和泉夫人」大連ではその 希望が踏分ありますわ 出」第一回が良かつた (水尾) 率天の脚で崩散が 全で慌てて辨當屋からぬ を引つたくつて飛びま を引つたくつて飛びま でで開てて辨當屋からぬ を可したりつて飛びま でが、へも多過ぎ

コ

「吉田」明日あたり請求書が無かなんてんだやない、無はあるなんてんだやないがなんでネ(美麗)所が之が箸が無かつたなんでネ(美麗)では良いできれ、あんな所は良いですれ、あんな所は良いですれ、あんな所に練習所を作りたい。一週間位市民の後漢奏したら良いだら

滿隣一と言つて良いでせ、 大連は直しさへすれば全 大連は直しさへすれば全 を通じて引合はんのです **【萩原】ステージの音響効** 事を認識しなければ……

【大内】オペラをやる計畫

見ませら、話して

【和泉夫人】普段の憎まれ口の叩き甲斐があつた と想つてダインとまぶた と想つてダインとまぶた が懸くなりました 「独立」生れた甲斐と言 いまり僕は音楽をやつた いまりと言ひたい

持つた一包

(吉田、小賞) まさに生

かねかね

【吉田】 東る新京音樂院 (八木) 天津、北京音楽 水水・でも言ひますかね のくりしました、結局はでくりしました、結局はではないと

談奇談を一つ。 て敷きたい 【八内】民生部あたり喜ぶ だらうと思ひます

[泉] そして音樂祭を年に 、二国やつたら偸快だ な、之は市民の代表的な [和泉夫人] 良いわれ、胸 【大内】團體など調べてあ

科醫院

06

3

ばしい季節の翳り

割にはたへられないのか 色白いナルシサスも季節の

を 強かな丘や羽や雑木林を越 強かな丘や羽や雑木林を越 あたゝがにわきたさる 深紅色の夕映のころ 西谷正夫

目だけれど

季節の潮 季節の潮は

して好感を示さずでま一張を守り、拘素に對し

題材の

を演じた。禁まと、 後等は佛廟西公園で食事を 後吻した、一幕の戀愛喜劇



濡れし大手

が酸化減効し易い缺い

ます

酸化減効し易い缺點が

これを植物油に稀め

そこで肝油からビ



であつた。 吹雪く日の電人掃除婦 るよく働き

「さあ、よく判らないけど の動揺が気になるのか直ぐ あんたも初めてらしいで 光枝の髪でゐる頭越しの また横になつて、枕許の新 がするが、よく判らないけど の動揺が気になるのか直ぐ は、あ成程、夕方頃にね 関を取り上げた。 は、あれたも初めてらしいで 光枝の髪でゐる頭越しの は、

彩を持つた青年

そんなこと

地のまい小豆大の糖衣粒と に含まれる高單位のADを がです。深海に棲む ADの単位は、 線寫真により 向上させる保健劑として用ひられます 樂に服め、 毎粒、正確且つ均等に測定されます 最新の科學的裝置(今光寫眞、放射 腺病質を健康にし健康體 を特許の たも 方の活形臓が中 のです。 それ



或ひは粉末や錠剤なり、ずれもAD 000

用しなくとも、ビタミ

その後、

用油が効く

0)

が最大の

生臭いあぶらを多り いはビタミンAとP

を多量に服

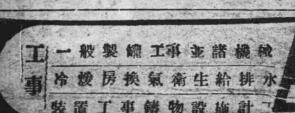
あること

が發見され、

ビタミン

AD の濃

肝油なら



でで胃腸にもたれ易いのが最大のは 方法がとられました。しかしこれ。 を膨珠(カフセル)や乳劑として、1

おって食べたものが、

がて油。

肝油も時代と



日

94 HV909



(15)

清

水厩舎の

野 П 生

るなき問題である
日職華大會、明治神宮國
日職華大會、海鮮對抗綜合競技
大會なと選手派遣には日
大會なと選手派遣には日
大會なと選手派遣には日
大會なと選手派遣には日
大會なと選手派遣には日
大會なと選手派遣には日
後來の競技會が健らに興味
た可然計畫性を持たせめ
まで隆落して來た傾向を優
に最故會に派遣さるよの
なが寒野のが健らに興味
なが水第に高價なものとなる。質品
が水第に高價なものとなる。質品
が水第に高價なものとなる。質品は社會水一枝であつた
はとい始めのである。 上競技協會主事

去の事實にのみ批判の時日

を興へられない、我が満洲 極端の少年であり白紙であ 無垢の少年であり白紙であ を戦い、純心 関は生れて関もない、純心

・ 東亚競技大會陸上競技 大変で行ふ

(日 幣 日)

延衡すより第一

新京武道大會

七四通橋本日

日時

四月七日午前九時生

時段大と無先段 はな將す段鋒、 二き三、者は中

滿洲帝國武道會就支部

シに申込むこと、試合 社武道大會係(電三1 三八八〇、三十三三〇

り體育勝盟で正式決定の上 時れの選手代表となれるわ けで本協會の全満洲より版 く求める寛大な處置が親は 事務局と本協會の推薦によいの強進會によって全滿のこの強進會によって全滿のに於て行ふことに決定した。 大會

e決定し十四日これを發 ・機能、選手銓衡方法に付

四月十五日迄に地方選抜の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、東北大会の1年、1

、出場團體資格 新京 に在柱する各武道團體 一、出場選手資格(各團 一、出場選手資格(各團 規定

一、 賞品 優勝劇造優勝 族並に優勝盃 (優勝族 特廻) 優勝團證各個人 に個人賞、優勝個人に 個人賞 個人賞、優勝個人に 個人賞 一、申込期日 本社式道

(ニューョーター四日登園) 開幕を四月十六日に整 一手に引受けてるた會長 東京な波瀾を描いてある 東京な波瀾を描いてある ーグでは突如鞘者や 身賣りか

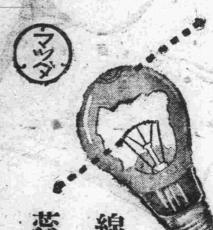
ス遂に 3 る……素的 粉白紛



原料無

科学日本の勝利 フツダランプの二大栄冦

★五年を 大の日本ない を落ちない を高さない をあり



同じ明るさで然も消費電力 を少しでも引き下げ様とす るのは世界照明技術家に誤

せられた困難なる宿題であ

りましたが之を解決したの は解社三浦技師の發明した 二重螺旋機能であつて一學 に消費電力二割の大巾節約 が出來ました

金

硝子球

硝子球の内面艶消は世界順 関技術家の容望でありまし

たが此の榮冠は鄭祉研究所 長不破工學博士によって得

ちれたのであります

資源愛護の國策に沿ふ織口 金は弊社研究所に於て三年 來研究の成果であります監 督官廳並に電燈會社の實地 試験がその優秀性を證明し て居ります

満洲東京電氣樣式會試 大連・奉天・新京・哈爾濱

前行洋林秋 通橋本日 三五五五(3) 話電 察身獨舎官用代六篇

(裏部業産)內寮湖南

石石山山業分調測課定析查量目 層

技術正確 · 責任出



商官學 壹 等 售 管 製麺起工 金 受



方二次競馬の四日目に十三 たのかが、その人気に選は まり當場呼馬界の逸酸とし た命名を馳せ登場したので で命名を馳せ登場したので 第一候補者に對する 挑戦會を開催

利などあるが延びるのは若 登美であると思ふ、八島と いふ馬が南瀬から來てゐる がこの馬の脚ははつきり判 らない。

◆春抽 北勢、新、富士の山、幸見、午猛、龍駒、山、幸見、午猛、龍駒、水水、寒寒、若登美、新勇 池、突撃、若登美、新勇 流光、新松縣、八島 一声の外馬、洋液、榮勇、江 一声の外馬、洋液、榮勇、江 一声の外馬、洋液、榮勇、江 一声の外馬、洋液、榮勇、江 一声の外馬、洋液、榮勇、江 一声の外馬、神武穂 一声の外馬、神武穂 この既舎へメービー候補 馬として四頭來でゐる、洋 趣のうちからダービー賞典 他のうちからダービー賞典 なて發表することにしたい なて發表することにしたい が、美勇、江戸の華、神武 が、美勇、江戸の華、神武 が、美勇、江戸の華、神武

が達せられるのである。 であつてこそ競技會の使命であつてこそ競技會の使命

日本固有の各武道が飽くまでも光酸性を有しこ中心として行はれてゐるのとこれたものとまな界も世界的に臨み諸兄の御い正を終りに臨み諸兄の御い正ををりに臨み諸兄の御い正ををりに臨み諸兄の御い正ををりに臨み諸兄の御い正ををしているる。

陸上代表銓衡方法決る



版大·京東 會商助之差野字·社會式標

3 は り貨物定期

よ來月實現

中心に鮮滿支を連絡

張りがあれば

重窓で

は大經路平安商會貨物請負

丸斯防護對策に貴重な示唆

資金の供給あればオ大會可能 「ヘルシンキー五日 發展 通」第十二回オリンピック 大會の開催問題に關しフィンランド政府では十五日 発展

マインランドは既にオリンピック大會を開催し得 金さへ供給されるなちば をさへ供給されるなちば をされるならば をなっとピックの再組織に をなった。 若し十分な資 をなる。 若し十分な資 にある。 おし十分な資 にある。 おし十分な資 にある。 おし十分な資

開催は大體七月下旬から八野球の満洲進出を決定した

【東京関通】

版 協 協 場 所 寒 所 寒 武 験

名多數參加の下に行ばれた【宮優は審断容據で十六日午後一時から政府に高さ五尺餘、權(幅)五尺餘。 を所に高さ五尺餘、權(幅)五尺餘

一放射賞翰(上)

宮御殿では午前七時御慶主 宮御殿では午前に歌かに執り おかたに殿かに執り かられた、この日竹田 登島岡御墓所において御追 登島岡御墓所において御追 がいまかられた。 御喪儀嚴かに執行故竹田宮大妃殿下

日

强調句間

國士計畫説明 地政總局では今回決定を見た例土計畫要綱に關し企業 を共にこれが實施に對しる を共にこれが實施に對しる を共にこれが實施に對しる を共にこれが實施に對しる を対合せの為十六日午後一 を対合せの為十六日午後一 を対合しの為十六日午後一 を対象を表示を表示。

三好中佐講演會

國都にも實現 夏先づ郊外三ヶ所に開園

職業野球團の

滿洲圖書株式會社

不安を一

生必輸入說明會

かしてるた事を自白した

優良種鬼**安價分識** 見を何つて就後の御奉公

條件 一、日本内地人にしてなる可く高女卒業の一、採用人員 若干名
古志望者は自筆製盤書寿参來る三月二十十日午後一時迄に來社ありたし
株式、大興公司、廉務課
會社、大興公司、廉務課 女子事務員募集

森川親雄

右御世話項き確定すれば薄謝(五十圓)呈す 住宅を求む

茶めし ばい ばか

四品八 がめて かめ

新京東五馬路(仲留所より東へ一下)

解雇廣告

滿洲大倉土木株式會社

食◎

今イビスト 夢集 一、年齢 三十歳未漏の日本婦人 一、行遇 其他而談の上決定 右希望者は自筆腹脈書持念の上 上、行遇 其他而談の上決定 木 芽 おで

正新が入るか入ら。 唆を奥へるものとして注目でれたが、この程 中間報告を得るに より調査中であるが、今後 より調査中であるが、今後 の正斯防護對策に大き意示 の正斯防護對策に大き意示

の通り中間報告を得るに 東京のでは、この程 東京ので、詳測な結 でするので、詳測な結 でするであたが、この程 東については目で、詳測な結 でするで、詳測な結 ででのたるので、詳測な結

ないかについては煙幕及 では強んど入らないが、 では始んど入らないが、 では始んど入らないが、 では始んど入らないが、 では始んど入らないが、 では一重変が対的自由に流 をした家

第一〇二九、六三二、三〇市大四道衛署日置警尉が、折た四道衛署日置警尉が、折た四道衛署日置警尉が、折た四道衛署日置警尉が、折た四道衛署日置警尉が、折た四道衛署日置警尉が、折た四道衛署日置警尉が、折た四道衛署日間を開発した。

のドア、煙突等も問題となりますし、次回には進なりますし、次回には進なりますし、次回には進みたいと思ひます。 股旅トラック

大成果をもたらす新シス 大成果をもたらす新シス 新樂計畫に加へられ、國 新樂計畫に加へられ、國 で目下その で目下その

スピ

う横建に住即期健連都

が一割五分と制限されて 本市場、消費組合、
は協和會分會、整
ひとつの小都市を形
ひとつの小都市を形

使ふ筈

もの

低大器 の

新 と に行はれてあるマラリヤ と に行はれてあるマラリヤーを使用したとからロットマチャーを使用したとからロットを得て

解析性の割期的な發見

策・き・天・け・ の・ ふ・ 温・ふ・気・の・





でお丈夫な品々を吟味取揃へて居ります

ミナカイの

御進級の樂しい御準備に斬新

職業紹介 益所

り國務院講堂に

土建統制委員會

北支太原一流, 旅費其他委綱三 編者は至無申込まる

希望者は至急申込れ度し 無河市、一流カ タカラ行

廣告の御川は

大新

いか……それに今……」

(18)

は たが、思ひ止つた。遼子は な たが、思ひ止つた。遼子は な 作向きがちに、一言も發せ で そつと實に、硝子玉のやう を つ して自分の部屋の方に立去 して自分の部屋の方に立去 して自分の部屋の方に立去 ていや、遠子が何と言ったか知らないが、時間も考べずに遊び廻る年頃でもなして居たと言ふなら兎も角として……先刻も越山さんの見さんが心配して、訪ねでいらした。親もるない事だし、また充分信用もして居たのに今になつて耻をかいせられるとは想はなかつたせられるとは想はなかつたなさるな。遠子、部屋に入って、すぐ役所の際表を書って、すぐ役所の際表を書って、すぐ役所の際表を書

日本橋通二四電の日本人三

TODA マックション

京二條通交看前 東二條通交看前 北上三六章 大香地 東二條通交看前

土町 (200)1100八 土町 (200)1100八

新京大猫病院

臨樹、神經痛、

サック 関本を と 明 女の職業紹介 要 に 明 女の職業紹介 要 に 職人 要 に 職 業 紹介 を な な さ ぎ る 品 品 の な と も に 限 を と り の 電 店 に 限 を と り で と い で

トラックに依る

を求めたき者。共に本命
架路頭に迷ふ者共に本命

大新京

対京富士町 対京富士町

古本高價買入生長堂書店

レス

次上、編の大大山 では、100mmの では、100mmの では、100mmの では、100mmの では、100mmのでは、100

TEL (3) 5715 (3) 3584

東京 中央道士 中央道士 宋松·接骨院 雅3 111101118 文業年前、午後、夜間階タイピスト議

社交係急募

イカラ 第一十十二

O INT

波 一ノー町業水 四七四三(3)個



高橋鍼灸科院

電③五八六五

柳树、肋



岩 電 金 四一ノーノ三町業永 前校學小島八 番七三一三・3 電

2







並會式株菓製治明·造製 會究研食糧人法團財·製監



一條通り五六 さん御仕立所 江 意語(3)五二〇三番 3 わた験具類 ん店

BB

及院室完備 田島醫院 院長 田 產 藤本ミ 二六の七



一 ド 3 6年式箱型5人乗(兩スペヤイヤニ本付) " 2 37年式60箱型5人乘 ツ ク 38年式41箱型5人乗 スチュードペーカ 38年式小型箱型5人業(ラデオ付) クライスラー 36年式箱型5人乗

クライスラーエヤフロー 海年式大型箱型5人乗(ラデオ付 ビュックマスターリモンジン 35年式箱型7人業 ビュック37年式60型箱型 オーバンコンマチーブル 3 6年式 (ラチオ付)

スユードペーカ 3 7年式大型箱型

ユュ

- ド 37年式157时(タイヤー最上) - ド 36年よりままれ オ ド 36年式157时 (タイヤー最上) インデアーナ 36年式160时 ダイヤモンド 87年式164时 F 36年式164时 2 13 36年式164时

合會 會 資祉 常盤町三八番地 大連市 3 四五四一 四



平角進を妨げます、當店に眼鏡全般 事務を執るにも勉强するにも大陸建 で増進を妨げます、當店に眼鏡全般 設に鍬を振ふも目に異常あつては能 ではます。當店に眼鏡全般 **化種** 夕 取揃 へて

五分割引致

定指御科眼院病立市



時で 出來る支け御手 必ず 任を以つて御修理申御滿足なさる様 許の 計類品薄の折柄 時計を御活用下 計を



優秀な技術者を招聘しました